【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公開番号】特開2021-8812(P2021-8812A)
【公開日】令和3年1月28日(2021.1.28)
【年通号数】公開・登録公報2021-004
【出願番号】特願2020-174439(P2020-174439)
【国際特許分類】
Ｅ０６Ｂ　9/15　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０６Ｂ　9/15　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和3年3月18日(2021.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いにヒンジ式に結合されている複数の第１のスラット（１３）を有する第１の遮蔽体（１１）と、互いにヒンジ式に結合されている複数の第２のスラット（１４）を有する第２の遮蔽体（１２）とを備える遮蔽装置（１０）であって、
当該両遮蔽体（１１，１２）はそれぞれ、休止位置と遮蔽位置との間で変位可能であり、
当該両遮蔽体（１１，１２）のこれらのスラット（１３，１４）の複数の端面（１３ａ，１４ａ）が、前記遮蔽位置で互いに向かい合っていて、
過半数の第１のスラット（１３）が、複数の第２のスラット（１４）に面したこれらの第１のスラット（１３）の複数の端面（１３ａ）側に第１の係合部材（１５）を有し、
過半数の第２のスラット（１４）が、複数の第１のスラット（１３）に面したこれらの第２のスラット（１４）の複数の端面（１４ａ）側に第２の係合部材（１６）を有し、
第１の遮蔽体（１１）が、第２の遮蔽体（１２）に結合されているように、複数の第１の係合部材（１５）が、複数の第２の係合部材（１６）にそれぞれ別々に係合可能である当該遮蔽装置において、
前記休止位置から前記遮蔽位置への変位中に、第１の遮蔽体（１１）の隣り合った複数の第１のスラット（１３）と、第２の遮蔽体（１２）の隣り合った複数の第２のスラット（１４）とが、互いに相対的に旋回（Ａ′，Ｂ′）を実施すること、及び
複数の第１の係合部材（１５）が、当該旋回によって複数の第２の係合部材（１６）に係合することを特徴とする遮蔽装置。
【請求項２】
第１の遮蔽体（１１）の多数の第１のスラット（１３）は、それぞれ１つの第１の係合部材（１５）を有し、
第２の遮蔽体（１２）の多数の第２のスラット（１４）は、それぞれ１つの第２の係合部材（１６）を有する、請求項１記載の遮蔽装置。
【請求項３】
第１のスラット（１３）の第１の係合部材（１５）と、第２のスラット（１４）の第２の係合部材（１６）とは、両遮蔽体（１１，１２）の間に形成されるギャップ（１７）を閉鎖している、請求項１又は２に記載の遮蔽装置。

【請求項４】
第１の係合部材（１５）は、第２の係合部材（１６）に嵌合されている、請求項１から３までのいずれか１項に記載の遮蔽装置。
【請求項５】
１つの第１のスラット（１３）の第１の係合部材（１５）は、隣り合った１つの第１のスラット（１３）の第１の係合部材（１５）に係合されている、請求項１から４までのいずれか１項記載の遮蔽装置。
【請求項６】
１つの第２のスラット（１４）の第２の係合部材（１６）は、隣り合った１つの第２のスラット（１４）の第２の係合部材（１６）に係合されている、請求項１から５までのいずれか１項記載の遮蔽装置。
【請求項７】
１つの第１のスラット（１３）の第１の係合部材（１５）は、互いに隣り合った２つの第２のスラット（１４）の２つの第２の係合部材（１６）に係合される、請求項１から６までのいずれか１項記載の遮蔽装置。
【請求項８】
第１の遮蔽体（１１）の第１のスラット（１３）は、前記休止位置と前記遮蔽位置との間での変位時に、第２の遮蔽体（１２）の隣り合った第２のスラット（１４）に先行した第２のスラット（１４）に対して相対的に旋回を実施し、
当該旋回した第１のスラット（１３）の第１の係合部材（１５）は、先行した第２のスラット（１４）の第２の係合部材（１６）に前記旋回によって係合可能である、請求項１から７までのいずれか１項記載の遮蔽装置。
【請求項９】
第１の遮蔽体（１１）と第２の遮蔽体（１２）とは、それぞれの前記遮蔽位置において互いに相対的に、３０°～１８０°の範囲内にある角度αを成して配置されている、請求項１から８までのいずれか１項記載の遮蔽装置。
【請求項１０】
前記角度αは、６０°～１２０°の範囲内にある、請求項９記載の遮蔽装置。